

独ブラームス国際コンクール優勝&英ウィンザー祝祭国際弦楽コンクール優勝

日本人チェリストとしてはじめて世界的弦メーカー
「ラーセン公認専属アーティスト」に選ばれた国際派
満を持して贈る、バッハ:無伴奏チェロ組曲全曲公演

バッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会に寄せて

全てのチェロ作品の頂点に君臨すると言っても過言ではない、バッハの無伴奏チェロ組曲。長らく紛失されていた作品でしたが、港のそばの古い楽譜屋で、ボロボロになったチェロ組曲の譜面を当時まだ13歳だった大チェリスト、パブロ・カザルスが偶然発見したことから再び歴史が動き出しました。彼はこの組曲についてこう述べています。「この作品はバッハの本質そのもので、バッハは音楽の本質そのものだ。」

カザルスの語る通り、この6つの無伴奏チェロ組曲は独奏であるにも関わらず常に多声的で、楽曲のありとあらゆる箇所に隠されたメロディが存在し、様々な解釈が可能なフレーズに満ちていて、単純に見えて恐ろしく複雑な構造を持っています。いつまでも正解が見出せず、チェリストは生涯をかけて対峙しなければならない作品です。

この演奏会は私にとって初の一挙全曲上演となります。
今の私が演奏するバッハの音楽を、最高のコンサートホールで皆様にお聴きいただけることを楽しみにしています。

伊藤 悠貴

Profile

伊藤悠貴(チェロ) Yuki Ito, cello

2011年イギリスにおいて、フィルハーモニア管弦楽団との共演でデビュー。ウィグモア・ホール史上初のチェリストによる《オール・ラフマニノフ・リサイタル》や、チェロ協奏曲《カサノヴァ》(管弦楽版)を作曲者である巨匠ヨハン・デ・メイ指揮のもとサントリーホールで世界初演するなど、これまで15余か国にわたって多彩な活動を展開。弦楽器専門誌『The Strad』より「国際舞台の頂点で通用するチェリスト」と評され、世界的弦メーカー・ラーセンの公認専属アーティストに日本人チェリストとして初めて指名されるなど、その演奏は国際的に高く評価されている。著書に『ラフマニノフ考』。第17回齋藤秀雄メモリアル基金賞など受賞歴多数。

Yuki Ito plays Cello Suites by J.S.Bach

©Hideki Shiozawa